

アピール

私たち連合は、「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて～医療・介護労働者のさらなる処遇改善を！～」をテーマに、「医療・介護フェス 2025」を開催し、これからの「地域包括ケアシステム」や、処遇をはじめとする職場の課題などについて、全国から集まった仲間とともに、活発な意見交換を行いました。

病気になっても、介護が必要になっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようにするために、国は 2025 年をめざして「地域包括ケアシステム」の構築を進めてきました。

今後、医療・介護の垣根を超えて「地域包括ケアシステム」をさらに深化・推進させていくために、医療・介護労働者はもとより、国民一人ひとりが改めて「安心と信頼の医療と介護」のあり方について考えていくことが必要です。

そして何より、人口減少・超少子高齢化が進行する中、持続可能なサービスの提供に向けて、医療・介護を担う人材の確保が不可欠です。そのためには、医療・介護現場で働くすべての人が、安心して働き続けられるよう、賃金の引き上げをはじめとする処遇・労働環境の改善が重要です。

2024 年度の診療報酬・介護報酬改定では、処遇改善に重点が置かれ、一定程度、賃金の引き上げにつながっています。しかし、2025 春季生活闘争において、「みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会」をスローガンに、他産業で高水準の回答が引き出されている中、医療・介護分野の賃金引き上げは、決して十分とは言えません。

国民の命と暮らしを守る、医療・介護の仕事に相応しい賃金をめざして、政府には、継続的な処遇改善に向けたさらなる施策を講じるよう求めます。

同時に、医療・介護分野に人材が集まり、定着する、魅力ある職場づくりが求められます。ワーク・ライフ・バランスや休日の確保、夜勤負担や業務負担の軽減、さらには患者・利用者・家族からのハラスメント対策の強化など、医療・介護現場で安心して働き続けられる環境の整備を行っていくことが重要です。

連合は、医療・介護の職場で健全な労使関係を構築し、連帯の輪を広げることができるよう、この「医療・介護フェス 2025」と連動した組合づくり・仲間づくりに取り組んでいます。そして、職場や地域の声を政府に届けるとともに、国民に広くアピールしていきます。

私たちみんなで、「安心と信頼の医療と介護」の実現に向けて、ともに行動していきましょう。

2025 年 5 月 17 日

日本労働組合総連合会

医療・介護フェス 2025 ～安心と信頼の医療と介護 中央集会～